

生え抜き  
鎌倉っ子！ 29歳

日向 慎吾



年齢：29歳（1983年6月9日 鎌倉市腰越に生まれる）

※鎌倉市在住29年。現在も更新中！！

祖母の実家は地元腰越で寿司懐石「かご家」を営んでいます。

経歴：モンタナ幼稚園 → 腰越小学校（少年野球：腰越Z主将）

→ 腰越中学校（野球部：市選抜の代表選手に抜擢）

→ 鎌倉高校（野球部：投手）

→ 日本大学文理学部情報システム解析学科（夜久竹夫研究室：ゼミ長）

情報処理システムの知識を生かし、IT企業へ就職。  
官公庁・金融系システムから会員向けサイト等、様々な  
システムの開発・構築。

資格：【国家資格】基本情報技術者・ソフトウェア開発技術者

【ご当地検定】鎌倉検定3級

【後援会討議資料】



## みんなで鎌倉を創る時です

私たちの住んでいる鎌倉は全国はもとより世界中から毎年約1800万人の方々足が運ぶ有名な街です。私自身、『鎌倉出身です。』とお話すると、今までに何度も『素敵な街で羨ましいですね。』と言われました。そんな素敵な鎌倉ですから住みたい街トップ10に毎年ランクインしています。しかし、住んで良かった街トップ10には入っていないのです。

この現実、皆さんはどう思いますか？ このままの状態では未来の鎌倉は大丈夫でしょうか？

私は、住んでいる人たちが「良い」と思える街にならなければいけないと思います。そのためには、市の運営を行政や議会に任せる姿勢のままではダメです。市民みんなが声を挙げて、市全体が一体となって鎌倉を創っていかなければなりません。今がその時です！！



始めました！！

フェイスブック：日向慎吾  
ツイッター：@HinataShingo

発行：ひなたの杜  
事務所：鎌倉市腰越 3-23-7  
連絡先：hinata.shingo@gmail.com

# ひなた慎吾は提案します

①情報の公開  
徹底

②市民の声  
共有

③市民全員  
参画

市民の日常生活と市政の運営とのギャップが存在しないか明らかにするため、情報の公開の徹底と、市民の声に向き合う姿勢を見直すことで、市民全員で市政を運営していくことができると考えます。  
今回のひなた新聞1号では、「①情報の公開徹底」について、お話しします！

## ①情報の公開徹底

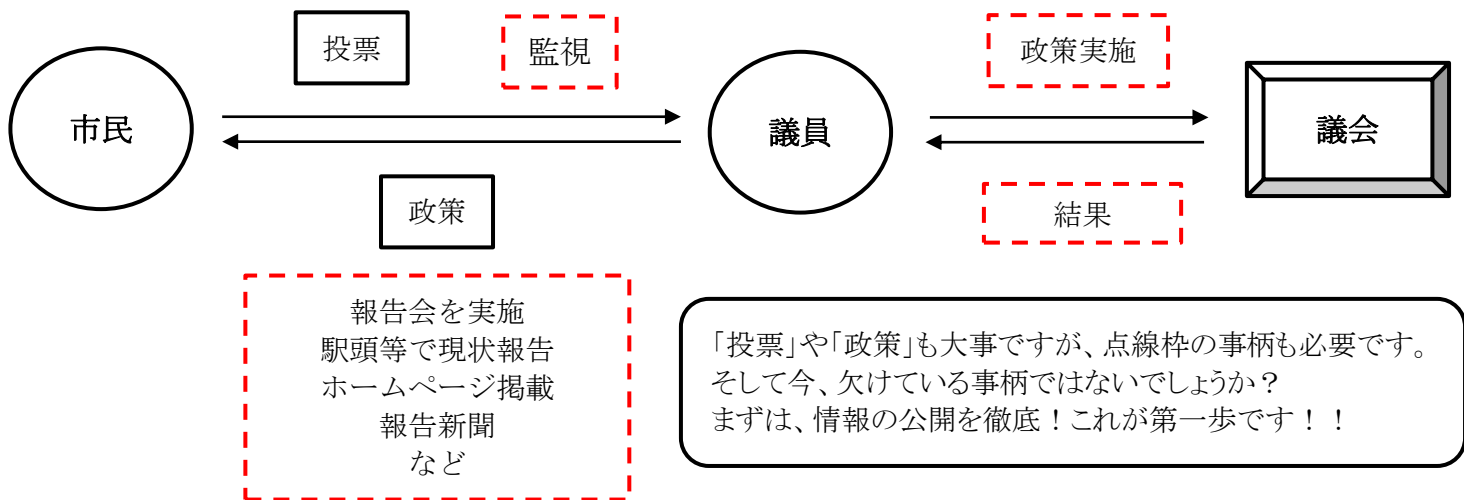
市議会議員は市民が直接選挙で選んだ市民の代表です。そして鎌倉市には現在 27 人の議員の方がいらっしゃいます。でも、議員の方たち一人ひとりが鎌倉のために何をしているのか、把握されていますか？お会いしたこともなく、何をしているかわからない議員の方が多くないでしょうか？

もちろん、鎌倉のため毎日行動されている方もいらっしゃいます。しかし政策を掲げても、その後の行動について、何も情報を発信しなければ市民には何をしているのか分かりません。ですので、もっと情報を公開すべきです。

自ら掲げた政策が「できた・できなかったか」の結果も大事ですが、その間のプロセスも大事だと思います。4 年間必死に取り組んでできなかったのと、何もせずにできなかったのでは、次も託せるかどうかの判断基準が全く変わってきます。

ホームページ掲載や報告新聞を配るのも手段の一つですが、やはり会って話をするのが一番です。報告会を開催したり、駅頭などでしっかりと自分の現状を責任を持って公開する。市民が行くのではなく、市民に会いに行く、市民に見える議員が必要だと私は思います。

以上より、私は誰よりもしっかりと情報公開をする「見える議員」を目指します！



私も  
応援しています！

鎌倉生まれ、鎌倉育ちの日向さん。  
野球で培った根性と、若い感性・行動力・ボランティア精神で、鎌倉に新しい改革の風を吹き込んでくれることは間違いありません。

鎌倉市長 松尾 崇

